

学力向上に効果のある取組事例

由布市立塚原小学校

②思考力・判断力・表現力等の育成

取組① 育成に向けた共通理解、場の設定

○学習規律の徹底

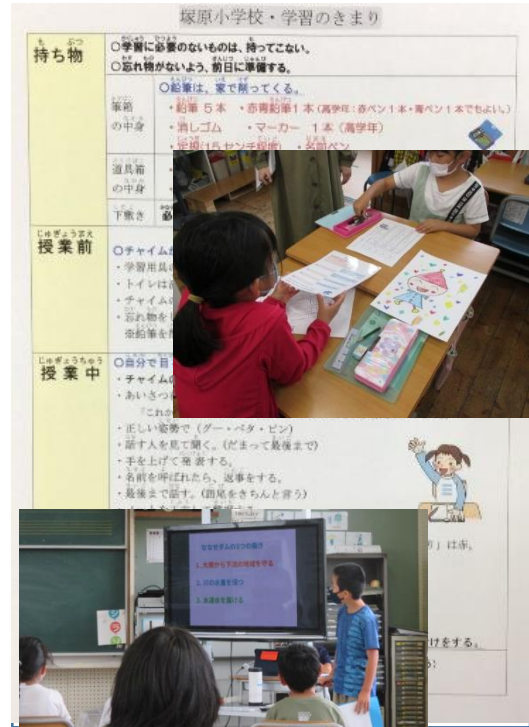
- ・「学習のきまり」を保護者、児童に配布し、学習に必要な物、発表やノート整理など、全校共通した取り組みを行っている。
- * 担任以外の教科指導を日常的に行っているため、全教職員で共通理解の上、授業を行っている。

○授業における、表現する場の設定

- ・ペア、グループ、全体等、意見交換を行いながら問題解決を行っている。
- ・気づいたことや感じたこと、キーワードを使う、考えの変化を書く等の振り返りを行い、表現させている。

○学びを活かした「表現タイム」の設定

- ・単元末で学習発表を行い、学びを自分の言葉で表現する、相手意識を持って話す場を設定している。
- * 振り返りを全体の場で行い、話し手・聞き手のよさをフィードバックし、表現力の向上を図っている。



取組② 習熟の程度に応じた指導の充実

○基礎基本の定着、活用力を高める取り組み

- ・国語・算数を中心に、スキルタイム(補充学習)を行っている。
- * 毎週月曜日、木曜日4, 5週 8:30~8:40

○国語・算数を中心とした家庭学習

- ・「学習の手引き」に基づき、保護者に課題の見取りをお願いし、家庭と学校で連携した学力定着に取り組んでいる。

○「個別最適な学び」の充実

- ・AIドリルを授業の終末での復習や家庭学習に活用し、一人一人の弱点に対応した学習を推進している。

○発達段階、学習内容に応じた「思考ツール」の活用

- ・まずは自分の考えを形成するために活用している。
- ・自分の考えの根拠が明確になったり、考えの似ているところや違うところなどに目が向くようになり、考えを伝え合うことができるようになってきている。

